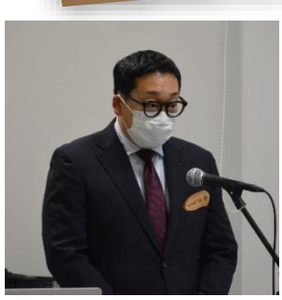
巻頭言　北海道キャンプ協会設立30周年記念事業を終えて



北海道キャンプ協会常任理事
記念事業実行委員長
山田 憲克

1992年（平成4年）5月、北海道キャンプ協会は設立されました。時は廉価なレジャーとしてのキャンプが注目され始めたころ、新しい野外ブームの波に対して、自分たちの守るべきキャンプのアイデンティティを見直そうとする北海道の指導者有志の思いが一つになり、北海道キャンプ協会の設立があったとうかがっています。自然体験活動の普及と指導者の育成を目指して30年、北海道キャンプ協会は独自の活動と日本キャンプ協会の支部としての活動を実施し、山あり谷ありの道のりを歩んでまいりました。本年2022年（令和4年）をもって30周年を迎えることができたのも、ひとえに会員の皆様、関係者の皆様のご支援の賜物であると感じております。心より感謝申し上げます。

記念講演会では遠くは東京の日本キャンプ協会、東北6県のキャンプ協会、また北海道内各地からもたくさんの方にお集まりいただきました。10年前の20周年記念事業は盛大な事業であったと記憶しております。本来ならば、30周年には20周年をしのぐ記念事業をと検討しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により規模を縮小し開催に臨むこととなりました。

講演会の内容は、北海道らしい自然と野生生物をテーマに、スケールの大きさに触れられる内容でした。私たちを含めて生きるもの全てに時は平等に流れ、過ぎた時は二度訪れないこと、自然の一瞬に出会うことも「一期一会」なのだということを改めて実感いたしました。さらに加えて、会場に足を運んでくださった皆様との出会いも一期一会です、同じときを過ごせたことに心から感謝いたします。

北海道キャンプ協会は次の10年に向け、これまで以上にその役割を全うできるよう力を合わせてまいります。引き続き、ご支援・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

設立30周年　記念講演会

日　　時：2022年11月5日　　13時30分～15時
会　　場：札幌エルプラザ　環境研修室
対　　象：どなたでも
参加者数：48名

　記念講演会の実施にあたり、どなたに講師をお願いするかということからスタートしました。北海道、自然、野生動物を今回のキーワードと考え、北海道在住の動物写真家である今津さんに打診したところご快諾いただき、今回の講演会が実現しました。

　事前から当日に至る準備はえぞっぷメンバーを中心に行いました。会場は札幌エルプラザをお借りすることができ、祝賀会会場と徒歩圏内なので往来と準備にあたっての機動力は抜群でした。

　参加は会員だけではなく広く一般の方も対象とし、ウェブ申込を基本に事前受付を行いました。ウェブ申込はキャンプ協会の行事としては初の試みでしたが、メリットが多く、今後も活用できる手段であると感じました。講演会当日は、札幌近郊を中心に道内各地から40名を超える方にご参加いただくことができました。

　また、コロナ禍での実施のため、集合型では参加を躊躇される方もいらっしゃることを想定し、録画を行い後日会員向けに動画配信を行うこととしました。当日来られなかった方も含めて、ぜひご覧ください。

　そして、今津さんの新作映画にも期待を重ね、今後も注目していけるといいですね。　報告　山田　啓貴

＜ご感想＞

　北海道キャンプ協会設立30周年講演会「いちど限りの、永遠。」では、自然や生き物の本来の姿を見ることができたとともに、今津さんのこれまでの活動がいかに大変であったのかを感じ取れる内容でした。また、自然や生き物が私たちの知らないところで“今”を生きているからこそ、私たちが自然や生き物たちと“今”を生きていけているということに気づくことができました。今回の講演会を聞いて、私たちが今後キャンプを通じて自然の中で活動する意義やこの素晴らしい環境をどのように守っていくべきなのかを改めて考える必要があると気づくことができました。今津監督の作品である映画「生きとし生けるもの」は是非見てみたいです。

協会員　戸田 弥祥さん

設立30周年　記念祝賀会

日　　時：2022年11月5日　17時～19時
会　　場：ホテルマイステイズ札幌アスペン
対　　象：日本キャンプ協会、
　　都道府県キャンプ協会
　　北海道キャンプ協会会員等
参加者数：27名

30周年記念講演会の同日夜に、記念祝賀会を開催いたしました。コロナウイルス感染症も少しの落ち着きをみせ全国各地で秋のイベントが開催された週末、ご多用の中日本キャンプ協会や東北ブロックのキャンプ協会より多くのみなさまにご出席いただきました。

会は人形浄瑠璃から始まりました。北海道で唯一の人形浄瑠璃芝居一座である「さっぽろ人形浄瑠璃芝居あしり座」による三番叟（さんばそう）が会場全体をつかって上演されました。浄瑠璃の人形が座席のすぐそばでまるで生きているかのように舞っており、出席者の興味を惹いていました。来賓のみなさまからのお祝いの言葉をいただき、コロナ禍によって久しぶりにお会いしたみなさまとの歓談に花をさかせ、祝賀会を無事に終えることができました。

報告　山元　彩奈

対面で会える嬉しさに

笑顔が溢れました。

各協会の皆様から
お土産の数々

＜ご感想＞

この度は、北海道キャンプ協会30周年おめでとうございます。祝賀会では各地の協会の方々からたくさんのお酒・お酒...お土産や各地の活動の様子をお話頂き、さっぽろ人形浄瑠璃芝居あしり座さんのお芝居を拝見し、実際にお人形を触らせて頂いたりと、改めて顔を合わせ、繋がりを持つこと・同じ空間で何かを楽しむ事の素晴らしさも感じることが出来ました。私事ですが、今回の祝賀会には20周年の翌年に行われたBUC(ツリークライミング等)事業の際にお腹にいた長男を含む家族で参加致しました。40周年の頃には長男も18歳となるんだなと考えながら、会員として出来る事は限られますが、子ども達と様々な環境へ出かけ、沢山の出会い・経験を共にし、キャンプ協会の活動を次世代へと繋いでいけたらと思います。

協会員　木田 裕加さん

設立30周年記念品について

これまで支えてくださった皆様への感謝の気持ちとしまして30周年記念誌と記念品の手ぬぐいをご用意させていただきました。手ぬぐいのデザインは、えぞっぷ所属の原翔太さんです。北海道の野生生物の足跡がほぼ実物大に描かれています、登山や自然散策の際にはぜひご持参ください！

キャンプインストラクター養成講習会　報告

日　　程：2022年10月28日（金）～10月30日（日）
会　　場：札幌市青少年山の家
参加者数：14名

1日目	参加者同士の交流を目的としたアイスブレイク キャンプの特性や対象者理解等の座学等
2日目	野外炊事、キャンプファイヤーの進め方 屋内ファイヤー設備を活用した指導者としての視点等
3日目	ブルーシートと周囲にあるものを使った簡易テントの設営等 試験

＜目的＞

この講習は一定の知識と技術を有し、直接的にキャンパーと接しながら、北海道を愛し、地域の特性を生かしながらキャンプがもつ素晴らしいエネルギーをともに伝えられる指導者を養成することを目的に実施します。

＜内容＞

新型コロナウィルス感染症拡大の影響を受け3年ぶりの札幌での開催、さらに集合型講習会ということで、共催である山の家のスタッフの力も借りながら、万全の感染対策をとって実施しました。粥川会長はじめ、北海道キャンプ協会所属のキャンプディレクター1級指導者が講師を務め、座学と実技のハイブリッド型講習でした。座学では少しでも多くの知識を吸収しようと必死にメモを取り、実技では他の参加者と積極的にコミュニケーションを取りながら、それぞれの持つ経験を互いに共有し合うなどの学び合いが見られ、講師側にとっても良い刺激を受けた講習会となりました。最終日は、当初通常のテント（ドーム型）設営を実施する予定でしたが、キャンプ経験の豊富な参加者もいたことから、二人一組になってブルーシートと周囲にあるものを使って一泊できる簡易テントを設営しました。それぞれが工夫を凝らした簡易テントを設営し、互いに評価しあうことで互いの知恵を共有しました。昼食後試験を行い、無事全員が合格され講習会を終えました。

今回は学生からベテランの学び直し、仕事としてキャンプ事業に携わっている方もいれば、キャンプを現在の仕事の中で活用しようとしている方など個性豊かな参加者が多かったことから、いろいろな意味で情報量の多い講習会となりました。参加された皆さん、本当にありがとうございました、また会えるのを楽しみにしています。

＜事業を振り返って＞

本来はえぞっぷを中心に実施したかったインストラクター講習会ですが、今回は11月に実施した協会設立30周年記念事業に全力を注いでもらうため、事務局を中心に実施しました。スタッフの確保という点においては、周年事業と日程が近かったことで苦労しましたが、参加された皆さんの熱い気持ちに支えられて講習を終えることができ、新たな仲間が増えたことは北海道協会にとって大きな財産となりました。引き続きコロナの影響は受けそうですが、日本キャンプ協会の同じブロックである東北ブロックとも連携しながら、今後も継続的に講習会は実施していきたいと考えています。

報告　下川原 清貴

北海道キャンプ協会
〒005-0862
北海道札幌市南区滝野106番地
ＮＰＯ法人ネイチャープログラムデザイン内

TEL&FAX　011-596-9170
メール　hokkaido@camping.or.jp
URL　https://www.hokkaidocamp.com/

Webページ　Facebook　LINE

発行：北海道キャンプ協会広報部　編集：長江 集子